

技術支援成果事例集

福井県工業技術センター



健康長寿の福井

技術支援成果事例集

2021年3月1日発行

[編集・発行]

福井県工業技術センター

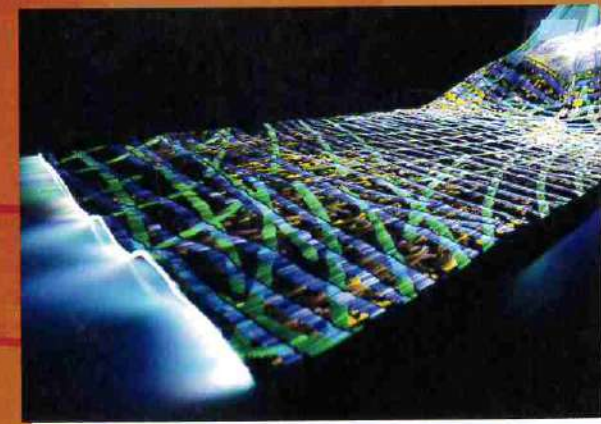
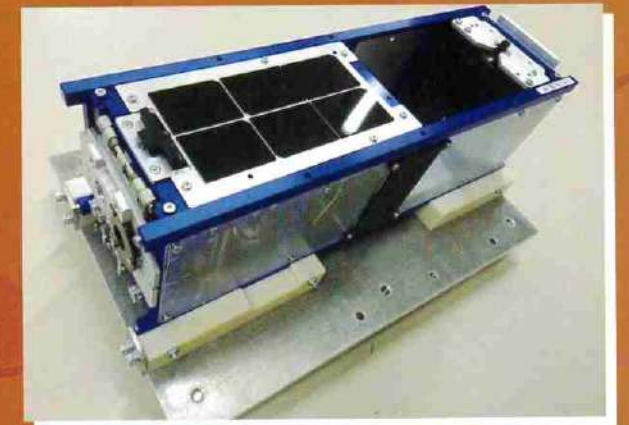
〒910-0102 福井市川合鷺塚町61字北稲田10

TEL:0776(55)0664

FAX:0776(55)0665

E-mail:kougi@fklab.fukui.fukui.jp

<http://www.fklab.fukui.fukui.jp/kougi/>



INDEX

■ 繊維	
・フレキシブル導波管	1
・特殊側面発光糸を用いた内装材織物「発光ジャカード織物 (LightWeave)」	2
・不燃性蛍光灯カバー「MOYASAN」	3
・保育向け音響製品「カルム」	4
・3Dタテアミ吸音パネル	5
・太陽光発電テキスタイル	6
・高周波伝送特性に優れた導電糸	7
・光るサイン用品 (のぼり旗、手旗、他)	8
・LEDリボン	9
・ICタグテキスタイル製織装置	10
・ICタグヤーン、RFIDテキスタイル	11
・電源供給部分に金属繊維カバード糸を使用した発熱織物	12
・テキスタイルセンサーによる来場者カウントシステム	13
・経編素材と不織布による積層ベッドマット	14
・光拡散織物を使用したロールスクリーン	15
・繊維副資材製造用超音波ホーン	16
・多層構造織物による寝具用クッション材	17
■ 複合材料	
・航空エンジン部材用炭素繊維複合材料基材 (熱可塑性耐熱薄層プリプレグシート)	18
・航空エンジン部材用炭素繊維複合材料基材 (多方向繊維強化シート)	19
・炭素繊維強化複合材料の中間素材「厚さ0.1mm以下の薄層プリプレグシート」	20
・開織糸織物および開織糸織物製織装置	21
・「強化繊維束の開織技術」による開織糸、開織装置	22
■ 眼鏡	
・跡が付きにくい鼻パッド	23
・SABAE LOUPE ～さばえルーペ～	24
・眼鏡用鼻当てパッド、クリングス「U&D PAD」、「PLARM2」	25
・眼鏡用3Dデザイン・設計システム	26
・恒温熱間プレスシステム	27
・眼鏡部品のレーザー接合	28
■ 機械・金属	
・Sabae Face Shield ～さばえフェースシールド～	29
・1.5Uペイロード搭載可能な3U型キューブサットの構造体および展開機構	30
・量産型3Uサイズ超小型人工衛星バス	31
・「超小型人工衛星筐体」、「可搬型衛星通信補助システム」	32
・医療用アシストスーツ (ストロングホールド)	33
・発電機完成検査用「高精度負荷試験機」	34
・高密度空芯コイル巻線機 (FBコイル巻線機)	35
・低侵襲医療器具部品のレーザー微細穴加工	36
・様々な刃物形状対応「切れ味測定装置」	37
・バリレス穿孔ドリル	38
・環境対応型路面放射熱量センサー	39
・電着ダイヤモンドソーワイヤ「i-Wire」	40

INDEX

・茄子科苗接木ロボット	41
・全自動高密度オサ通し機	42
・ショコラナイフ「チョコレート所作(syosa)」	43
■ 電子・情報	
・次世代農業を実現可能なIoT環境制御システム	44
・シンバル用銅合金素材	45
・手袋型RFIDリーダー	46
・高透磁率磁性体シート	47
・パソコンによる「マリンバの音階解析システム」	48
■ 化学・プラスチック	
・「キャリーカップ」	49
・大気腐食モニタリングセンサ「ACMセンサ」	50
・医療用サージカルテープカッター「KIRURU」	51
・超耐久性プラスチック食器	52
■ 窯業・セラミックス	
・福井の繊維を表現した意匠性・機能性の高い越前瓦外壁材	53
・越前焼 かに焼専用七輪	54
・傷が付きにくい越前焼業務用平皿	55
・業務用ミニコンロ対応グリル陶板	56
・耐熱性越前焼調理具	57
・越前焼のサンドブラスト加飾製品	58
・越前焼の業務用高強度そば鉢・ラーメン鉢	59
・「セラチッコウ」、「セラチッコウ点字鉢」	60
■ 伝統工芸・デザイン	
・3Dコンピュータ形成技術を活用した木工品の開発	61
・3Dコンピュータ形成技術を活用した越前和紙の模様付けツールの開発	62
・越前和紙 福乃ここ千	63
・環境にやさしい「ヨシ紙」	64
・食器洗浄機・電子レンジ対応のプラスチック素地漆器	65
・めっきと漆の融合技術「スポーツアワードグッズ」	66
・ポケットチーフ	67
・彩色和紙製品「飾り団扇 -あおぎ-」	68
・インテリアピラーキャンドル「ANDON」	69
・デザイン酒器「Tri Tura」	70
・カラミ織りのモアレ効果を活かしたインテリア製品	71
・環境に優しいエコバッグ「クナプラス」	72
■ 建設技術	
・マイコン積雪センサ	73
・繊維ロープ製車両用防護柵	74
◆ 特許	
・産業財産権一覧	75

「キャリーカップ」

(株)ミヤゲン (敦賀市)

平成29～30年度 新市場創造型標準化制度

問合せ担当者 雲竜常宗



背景と経緯

(株)ミヤゲンで開発された、カップコーヒーなどのテイクアウト専用のキャリー袋は、カップ挿入時の利便性、運搬時の安定性および環境配慮に優れていて、国内のコンビニエンスストア業界などで好評を得ています。そこで、他の流通業界への拡大と世界展開を視野に入れ、経済産業省の「新市場創造型標準化制度」を活用して、一般財団法人日本規格協会、国立研究開発法人産業技術総合研究所、(株)ミヤゲン、福井県工業技術センターが共同で、キャリー袋の持ち運び安定性を判断するための試験方法の検証と標準化に取り組みました。

成果と製品化の状況

産業技術総合研究所がキャリー袋を持って歩いた時の人の手の動きを、上下方向および水平方向について様々な条件で精密に計測し、持ち運び安定性試験の加振条件を検討しました。その条件をもとに加振試験機を試作し、福井県工業技術センターで検証試験を行いました。その結果、(株)ミヤゲンが開発したキャリー袋は他社の類似品と比較して非常に優れた安定性が証明されました。この結果をもとに、JIS原案を作成し、平成31年3月にJIS Z 1718「ポリエチレンフィルム製キャリー袋」が制定されました。今後は、持ち運び安定性が優れ環境に配慮したキャリーカップのPRを積極的に行い、販路を拡大していきます。



加振試験の様子